

これからの人材育成

— 高まる東アジアの存在感 —

奈良県では、平城遷都1300年を記念して、日本、中国、韓国の地方政府を中心とする「東アジア地方政府会合」を設立しました。

この地方政府会合は、東アジアの地方政府の代表が集い各々の実情を報告し合い、共通する課題について議論を重ね、行政能力を高めるとともに、相互理解を深めることを目的としています。

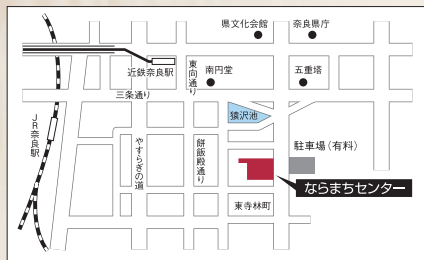
今秋開催する第3回東アジア地方政府会合の行事の一つとして、日本アスペン研究所の協力を得てシンポジウムを開催します。

日時 平成24年 **10月17日** [水]

午後1時30分→午後3時40分

場所 **ならまちセンター** 〈市民ホール〉

奈良市東寺林町38番地



ご来場は、駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

■徒歩/近鉄奈良駅より約10分、JR奈良駅より約15分

■パネルディスカッション

東アジアの存在感が増す中、経済界や大学等からパネリストを迎えこれから必要とされる人材育成について考えます。



●キーノートスピーカー
パネラー

小林陽太郎氏

富士ゼロックス元取締役会長：
日本アスペン研究所理事長



●モデレーター

伊谷治美氏

埼玉大学教育学部教授



●パネラー

白井克彦氏

放送大学学園理事長：
早稲田大学学事顧問
(前早稲田大学総長)



●パネラー

荒井正吾

奈良県知事

■参加者募集 テーマに関心をお持ちの方 (先着300名)

参加費
無料

申し込み方法

- ①代表者氏名(ふりがな) ②参加人数 ③〒番号と住所 ④電話番号 ⑤FAX番号
- ⑥Eメールアドレスを記入し、シンポジウム参加希望と明示して、はがき、FAX又はEメールで申し込んでください
- ◎申込先:「第3回東アジア地方政府会合運営準備室」

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-19-3 PIAS TOWER 11F (株)コンベンションリンケージ内
E-mail: eAsia2012-reg@c-linkage.co.jp TEL: 06-6377-2070 FAX: 06-6377-2075

ご参加いただける方には、参加券をお送りいたします。 **10月12日(金) 17:00締切**

●主催:奈良県 ●協力:一般社団法人日本アスペン研究所 ●協賛:富士ゼロックス大阪株式会社

〈第3回〉 東アジア地方政府会合・日本アスペン シンポジウム

— モデレーター、パネラー紹介 —

PROFILE

これからの人材育成

— 高まる東アジアの存在感 —



●キーノートスピーカー・パネラー

小林陽太郎氏

富士ゼロックス元取締役会長：
日本アスペン研究所理事長

1933年ロンドン生まれ。1956年慶應義塾大学経済学部を卒業しペンシルベニア大学ウォートンスクール修了後、1958年に富士写真フイルム(現富士フイルム)に入社。1963年富士ゼロックスに転じ、1978年に代表取締役社長に就任、1992年代表取締役会長、2004年に取締役会長となり2006年から2009年まで相談役最高顧問。



●パネラー

白井克彦氏

放送大学学園理事長：
早稲田大学学事顧問（前早稲田大学総長）

1939年大連（中国）生まれ。1968年早稲田大学大学院理工学研究科博士課程単位取得満期退学。工学博士。1975年に教授となり、現在は名誉教授。専門は知能情報学。2002年11月～2010年11月早稲田大学第15代総長。退任と同時に同学事顧問に就任。2011年4月より放送大学学園理事長。



●モデレーター

渋谷治美氏

埼玉大学教育学部教授

1948年静岡県生まれ。1978年東京大学大学院博士課程修了。2004年4月～2008年3月埼玉大学教育学部長。2008年4月～2011年9月埼玉大学副学長、現在は教育学部教授。主な著書に「逆説のニヒリズム」花伝社、「リア王と疎外 シェイクスピアの人間哲学」花伝社等がある。



●パネラー

荒井正吾

奈良県知事

昭和20年奈良県生まれ。昭和43年3月東京大学法学部卒業、昭和43年4月運輸省入省、昭和47年6月米国シラキュース大学マックスウェル行政大学院卒業、同大学行政学修士取得、平成11年7月海上保安庁長官、平成13年7月参議院議員を経て平成19年5月より奈良県知事。

当日パネリストの皆様への質問時間を設けます。ご質問を受付で回収させていただきますので、ご質問のある方は、ご準備ください。

■日本アスペン研究所

1998年の創立以来、各界のリーダー及びリーダー候補者を対象に、「古典」を素材とした「対話」を通して、人間性への洞察、大局観、専門性を超える知性、判断力といったリーダーに不可欠な資質に磨きをかけることを目的とした様々なセミナーを開催。米国で発祥したアスペン精神を尊重しつつ、独自のプログラムを提供しています。